

星屑

Vol. 256
July '96



平成 8 年度 熊本県民天文台総会記念撮影

熊本県民天文台

CCD REPORT

COMET PAGE

Porco Nisse

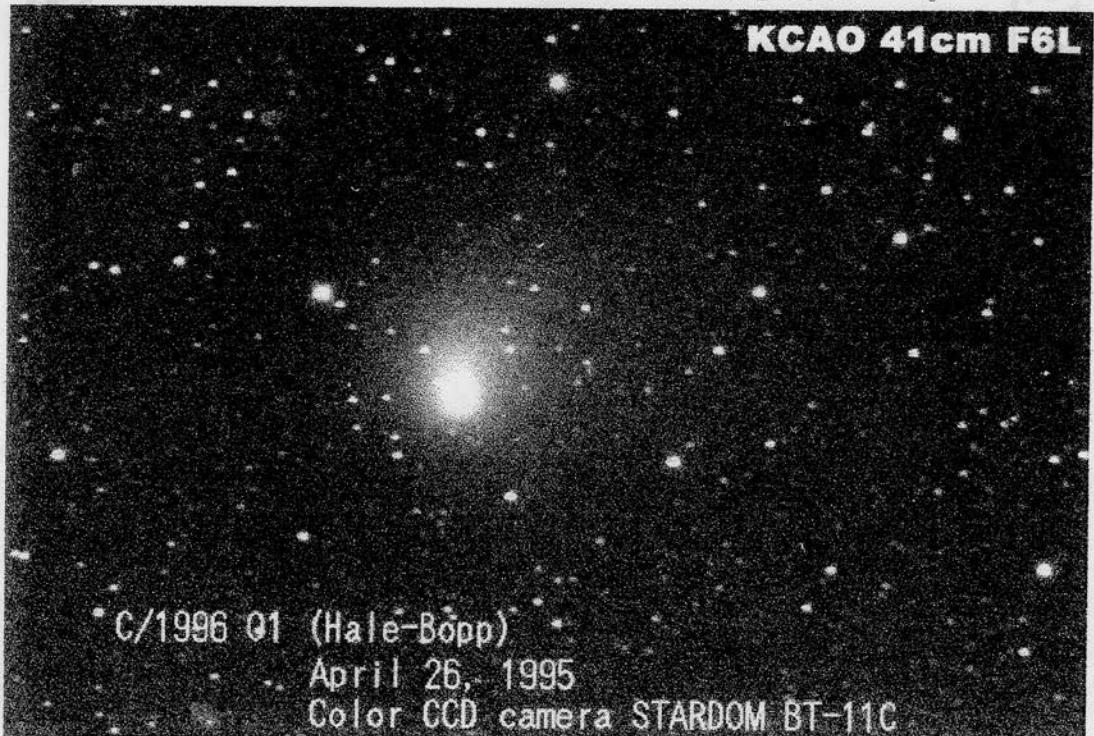
百武彗星が南に去って、やれやれこれで彗星の通常観測再開かと思ったけれど・・・今年の5月はなにか変。晴れてはいるのだけれど、星が見えない。雨量の少なさは地方気象台開設以来とか言うのに星は見えない。とうとう5月は1夜の観測となってしまいました。

5月は地球に40万キロと接近した小惑星が発見されました。しかし、この異常な天候のため、KCAOではとうとう観測する機会がありませんでした。滅多にない明るい天体だったのに残念な思いが残ります。でも、観測が可能であったにしても0.1秒の時刻精度が必要な超高速天体の観測がうまく出来たかというと、ちょっとねえ・・・、まだまだ工夫する必要があります。

C/1995 O1 (Hale-Bopp)

いよいよ真打ち登場！！ヘル・ボップ彗星が明るくなってきました。まずは4月26日の画像から紹介しましょう。これは、当天文台の最新鋭カラーCCD/BT-11Cによる画像で、原稿ではカラー画像なのですよ。ダイレクトにお見せできないのが残念ですが・・・。

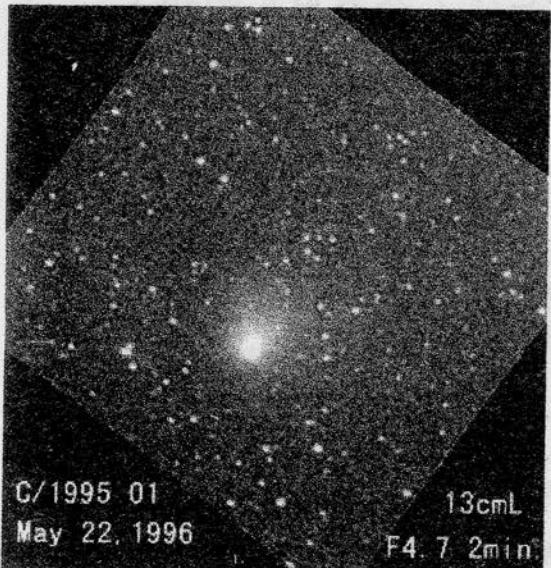
KCAO 41cm F6L



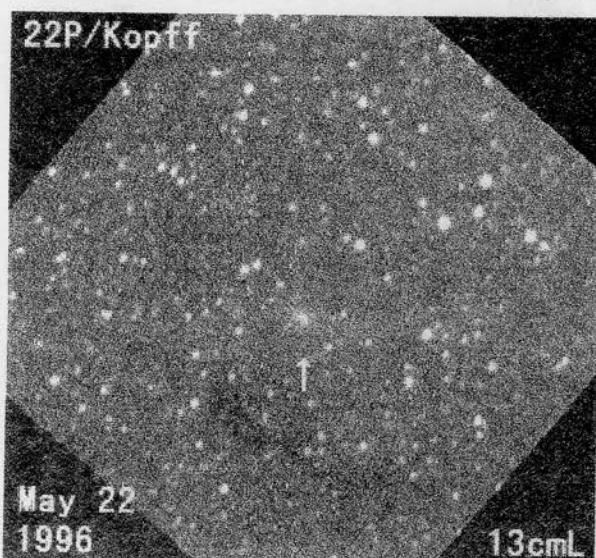
• C/1995 O1 (Hale-Bopp) •
• April 26, 1995 •
Color CCD camera STARDOM BT-11C

この画像では、北向きに吹き出したコマが時計回り方向に取り巻くように拡散していることがわかります。この時点で全光度6等台後半になっていました。同じ頃に行われたスペクトル観測では、輝線の少ない平坦なバンドのスペクトルが得られています。これはコマがダストで形成されていることを暗示しています。

次は、5月22日の画像です。これは41cm反射に同架した13cmF4.8ニュートン焦点で撮像した画像です。北が上になるように回転させたので、こんなトリミングとなりました。西に伸びたコマは、もう尾と言ってもよいくらいになりました。条件の良いところでは肉眼で見えると報告さ



C/1995 O1 (Hale-Bopp) June 5, 1996



れたのもこの頃です。太陽から 4.3 天文単位も離れたところで既に肉眼光度というのですから、この彗星、ただ者ではありません。この調子でいくと、夏休みには空の良いところでは誰にでも見える光度になることでしょう。

現時点での最新画像が次の 6 月 6 日朝のものです。この夜は熊大天文研究会の会長氏が偶然観測の立会人となりました。41cm で眼視観測もできて喜んでいましたが、みなさんも早めにご覧になっておくと自慢できるかも知れませんよ。

ところで、下の画像・・・なんだか暗く小さくなつたように見えませんか？ 実は、この夜は大きな月が近くにあり、しかも透明度が悪いという超悪条件での撮像だったのです。CCD でなければとても観測する気になりません。

△ 41cmF6 60sec. ▽ 13cmF4.8 60sec.

Comet
Hale-Bopp

22P/Kopff

今年、最も明るくなると期待される周期彗星です。ところが巨大彗星出現の年となつて見向きもされない状況のかわいそうな星・・・といったら言い過ぎかな。

この星は小さいけれどしっかりした彗星で、南東の空に見えています。でも、よく見ると変ですねえ、コマが北東に伸びているぞ。今この星は太陽の西側にいるのだから、尾は西に伸びるのが普通なのですから・・・。ということは、これは尾ではなくてコマということでしょうか。

銀河の中でヘル・ボップ彗星の近くを東進しています。しばらくはこの二つの彗星が見頃といえます。

まもなく梅雨ですね、夏の観測シーズン前に銳気を養っておきましょう。

南阿蘇の別天地、S・Y邸とルナ天文台を訪ねて

報告：艶島 敬昭

5月末の日曜日、私夫婦の乗ったレビン号と、中島家3人の乗ったファミリア号は、初夏の日差しの中を清和経由・高森峠越えルートで、南阿蘇国民休暇村へと向かった。

数日前、会員のS. 山本氏より電話があり、「南阿蘇に購入した自宅へあそびに来ませんか？」と、お誘いを受けていたからだ。

うわさによれば、かなり広い敷地に、大きなログハウスが建っているらしく、天文台会員の合宿所候補とか。これを見逃してはいけないと、二つ返事で出かけることにした。

途中、久しぶりに通る矢部町付近では、バイパス沿いに大型店舗が立ち並び、まるで様子が違う。更に、清和のAコープまでが新築移転しているではないか。これではまるで浦島太郎のような気分。ここ数年いかに仕事に没頭していたかがわかる！？

満開のつつじに彩られた高森峠を越え、南阿蘇国民休暇村に到着。ここで山本ご夫妻、小林M氏と合流。ビジターセンター見学、野草園見学（はなしのぶを堪能）の後、レストランはなしのぶで会食。いよいよご自宅見学ツアーへ。

メイン道路からの入り口は、一度行った人でなければちょっと説明しにくいので省略。もちろん入り口からは人家があることはわからない。4WDが似合う小さな水路の壅みを越え、火山灰の舞う道路を少し行くと、見えた見えた！ すごい！ すごい！

叫んでいるうちに、車は庭先で停車。早速、ぐるりと外から眺め回し、ああだこうだと品評会が始まり、ご夫妻は解説に忙殺されている様子。しばらくは誰も家の中に入らない。南向きのテラスに人が集まっているし、ドームが建つはずだった場所についても興味が集まっている。



いよいよ、分厚い木製のドアを開けて中へ入る。

うーん、これがログハウスか！ さすが北米原産、スケールがでっかい！

吹き抜け大空間の居間には定番の薪ストーブが据えられ、冬への備えは万全。もちろん、窓はでかいが二重ガラス入りで、冬の寒さや夏の暑さを防ぎつつ、周囲の景色をたっぷりと楽しめる。根子岳を楽しみながらでっかいお風呂。2階には合宿に最適の大広間（ここも根子岳がたっぷり楽しめる）。

居間や2階からは南外輪の絶壁が手に取るように見える。ここからなら家の内で月見ができるぞ！ それに、道路は近いが、杉並木が遮ってくれるので、騒音も光も妨げにならない。今の季節なら周りは緑一色。最高に贅沢な週末を楽しんでしまった。

山本さんの部屋には、所せましと各種の望遠鏡や器材が置いてある。帰るタイミングを外すと、ずるずると行きそうな気配。

日曜夜の運営があることを理由に、コーヒーとケーキを頂いたところで退散。

雄大な南阿蘇の自然と、その楽しみかたを満喫。山本さん有り難うございました。

さて、次の週末（6月1日）

俵山経由で、再び南郷谷へ。

両親の結婚50周年、金婚式のささやかなお祝いに阿蘇一泊の旅を兄弟で企画。

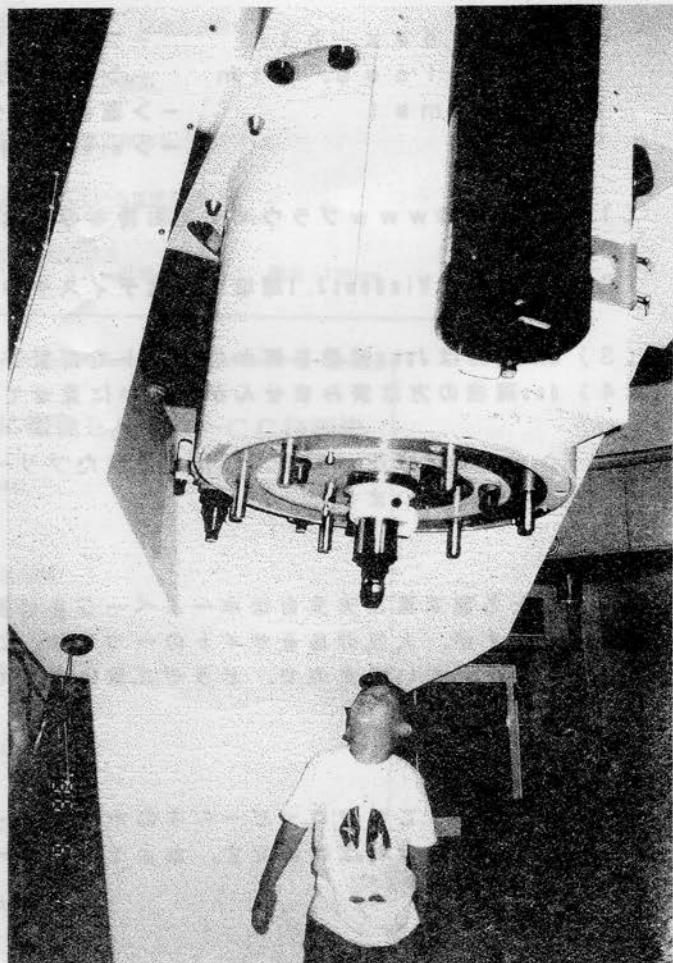
当夜は、南阿蘇ルナ天文台＝ペンション森のアトリエで夕食。あわよくば、九州最大の望遠鏡を楽しもうという趣向だった。

製作は、ご存知のミカゲ光器。無理かなと半分あきらめていたら、ぎりぎり間に合った。

調整中とのことだし、満月なので、望遠鏡だけでも見物できればラッキーと、割り切って出かけた。

おいしい食事と温かいもてなしに両親は感激、はじめて見る大望遠鏡にもびっくり。81cmは本当にでかい。建物がぎりぎりだったので、調整用プレート1枚入れるのにコンクリートの梁を削ったそうです。

すごい設備！ 今後の活躍が楽しみなルナ天文台です。



あまけつロッピーディスク 第2弾

「百武彗星特集」 天文台に寄せられた写真から

すごい彗星でしたねえ。ご覧になりました？あちこちの雑誌や新聞でも特集が組まれ（星属でもそうですが・・・。）大騒ぎの大彗星でした。

県民天文台のホームページでも、天文台で撮影した画像や会員の秘密の場所で撮影した画像がたくさん掲載されています。綺麗ですよー。見たいでしょ！！

というわけで・・・、雑誌などではおまけで付いているフロッピーディスクを星属にも付けてみよーというところで、付録、おまけ、です。

フロッピィは、3.5インチディスクです。コンピュータをお持ちの方は、どうぞ楽しんで下さい。そうでない方は、持っている方へ見せて下さるとお頼みするか、この際パソコン買います？

では、フロッピー企画第2回でした。えー1回目を知らない？持っている方に頼んで見せてもらって下さい。

使い方

フロッピーの中には以下の構造でデータが入っています。

¥ : index.htm	-> 2月から4月までの銀塙写真を中心に
	colccd.htm -> 4月のカラーccd画像を中心に
└ ¥ : comet	-> 画像データ (JPEG画像です)
└ ¥ : gv	-> windows用画像ビューウィー GV

- (1) インターネットのwwwブラウザをお持ちの方は上のindex.htmを開いてご覧下さい。
- (2) WIN95、Windows3.1環境の方はディスクの中のGV.EXEを起動してご覧下さい。
- (3) MACの方はJpeg画像を何かのソフトでご覧下さい。
- (4) dos環境の方は済みませんが、誰かに見せてもらって下さい。

☆ GVは飛田 方さんが作成されたフリーウェアです。ご協力ありがとうございました。

現在私たち熊本県民天文台はホームページを公開中です。すでに1年以上も公開していますが、人気のあるサイトの一つです。ここに収録した以上の画像がたくさん公開されていますので、どうぞご覧になって下さい。URLは最後のページに載せてあります。

次のページに、このフロッピーの中のホームページを載せておきましたので、参考にしていただければ幸いです。およそのイメージが得られると思います。

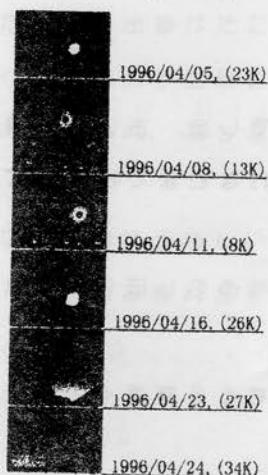
県民天文台で撮像した百武彗星の画像

- 4月に撮像したカラーCCD画像
- 4月に撮像したカラー画像
 - 1996/04/11 C1996 b2百武彗星 (写真) 露出: 30sec.
135mm, F4, で木戸氏が撮影。 (51k)
 - 1996/04/03 C1996 b2百武彗星 (写真) 露出: 30sec.
20cm, F4反射望遠鏡で佐伯氏が撮影。 (51k)
- 3月に撮像したカラー画像
 - 1996/03/23 C1996B2北斗七星と百武彗星。(46K) 見なきやソンです！
清和高原天文台が撮影。 露出: 300sec. 信じられない程の尾の細部！
 - 1996/03/26 C1996B2北斗七星と百武彗星。
28mmレンズで金坂氏が撮影。
 - 1996/03/26 C1996B2百武彗星。
松野氏が撮影。
 - 1996/03/26 C1996B2北斗七星と百武彗星。
28mmレンズで大石氏が撮影。 カメラを固定して撮影 露出: 120sec.
 - 1996/03/26 C1996B2北斗七星と百武彗星。
50mm F2レンズで佐伯氏が撮影。 露出: sec.
 - 1996/03/26 C1996B2百武彗星 (25K)
41cm F6反射で、中尾氏が撮影。 核近傍のジェットが見えています
 - 1996/03/26 C1996B2 百武彗星 (30K)
地球に最接近した夜の見事な尾を、鹿本氏が撮影。
 - 1996/03/25 1996B2百武彗星 (62K)
彗星の尾の複雑な構造が分かります。 尾崎氏が撮影。
 - 1996/03/25 1996B2百武彗星 (56K)
彗星の尾のズームアップ。 尾崎氏が撮影。
 - 1996/03/24 C/1996 B2百武彗星 (134K)
福岡市の高城氏が撮影。 見事な尾の細部をご覧下さい。
- 2月に撮像した画像
 - 1996/02/23 C/1996 B2順調に明るくなっている百武彗星。
肉眼で見える明るさになっています！ 露出: 120sec.
 - 1996/02/04 百武さんが発見した2個目の彗星
淡い尾が西へのびています。 3月には地球に接近！ 露出: 120sec.

→ 最近の画像のページ

県民天文台で4月に撮像したカラーCCD画像

- 百武彗星 (C 1996B2 Hyakutake)



草刈り狂想曲 '96

草刈り・倉庫整理

そしてバーベキュー大会

去る、5月25日土曜日、午後1時半から天文台の草刈り作業が行われました。これは、例年の恒例行事ですが、今年はレクレーションも一緒に行うように計画されました。

さて、当日の1時半・・・なんと来たのは私だけ。呆然としながらも気を取り直して草刈り機など道具を下ろしました。そうこうするうちに、西嶋さんとその友人が到着しました。さらにしばらくして木村さん、さらにしばらくして熊大の天文研究会のみなさんと、そくそくと到着しました。待っている間に、なんと西嶋さんたちは梅の実をちぎっていました。天文台梅酒が出きるそうです。みなさまご期待ください。

みんながそろったところで、いよいよ草刈り作業の開始です。はじめは男性のみんなで外の草刈りを始めました。特に、岩永君と磯田君の2人が中心になっての木犀の剪定作業は難航を極めました。何せ何年もほったらかしだった木犀ですから、枝が絡み合っていてどうにもなりません。最後にはやけになつたを振り回している磯田君の姿に、何か哀愁が漂っていました。外の草刈りも順調でしたが、芝の剪定がなかなかの難物で、ヘッジトリマーと草刈り機を使って何とかやり終えたのですが、この時小林さんが登場。

「おーい！！倉庫ばかたずくっぽい！」

「えー！！今からですか？」

「あたっまえたい!!!!」

ということで、何とそれから倉庫の片づけでした。古い望遠鏡や昔の資料の数々、それになぜか期限切れの醤油や焼き肉のたれなどまで出てきて、なんだこりゃの世界でした。

天文台の中では女性の人たちが掃除と毛布のむしょし、それに台所の整理と大活躍でした。

こんなにがんばったのに、終わったのはもう5時近くでした。なにせ、刈った

草や枝を燃やし始めるとこれがすごい勢いで燃えて、何となく最後まで燃やし尽くさないと終われないような雰囲気になってしまったのです。

呆然と座り込む大学生に

「さー、今日は何をして遊ぼうか?」と言うと

「えー、今日はもうやめましょうよ。1時間で終わると言ったじゃないですか。
..」

と冷たいお言葉が。。。

そこで、仕方なく夕方のバーベキューの準備にかかりました。学生さんの人数を考えると肉は相当量必要だと思われます。今回は自分でお金を出さなくてもいいように、社会人からはお金の先渡しで望むことにしました。で、買ってきました・大量の肉と野菜と飲み物の数々。準備をしていよいよバーベキューが始まつた途端、その大学生の食欲に圧倒されることになりました。10数キロの肉はあつと言う間に食い尽くされ、私たちが確保していたわずかな肉にもはしが伸びてくるではありませんか。しかし、今日一日の働きを考えると、許してもいいかという気になりました。その中でも、なぜか

「よかですか?」

といいながらはしをのばして黙々と食べていたA君。

「ははは、あっ!だれ僕のビール飲んだの!!信じられーん!!!!」

とわめいていたB君。

ちなみに、私は彼が自分でビールを飲んでいるところをしっかりと観察していました。彼は酒に目がないことが判明しました。さらに、この後熊本市内に帰つから先輩とまた飲みに出掛けたことも分かりました。

とにかく久しぶりの若い大学生諸君とおじさんおばさんが一堂に会しての大宴会でした。夜の更けるにつれ、おじさんたちは天文台の床に長々と寝そべり、沈没していました。

天文台がきれいなのはうれしいのですが、とにかく疲れた一日でした。参加されたみなさん、本当にお疲れさまでした。

天文台小説

シリウスよりも輝いて

第六話 告白

甲斐 雅子

-前回までのあらすじ-

熊本大学理学部3年天文研究会部員の沢木信夫(21)は、星のよく見える冬の夜の天文台で一人の女性と知り合う。彼女の名前は白石めぐみ(25)、保母をやっている。この出会いから沢木の恋は始まり、愛の力は沢木を天文台の運営委員にまでしてしまった。久しぶりに天文台を訪れためぐみ、その相手をする沢木、二人の運命はいかに…。

「…聞いてほしいことがあるの。」

「えっ。」

彼女のその美しい瞳は、俺の眼だけに向けられ、そして何かを求めていたようだった。

『こ、このムードは!?』

俺の心臓は高鳴りはじめた。

：

「私、あなたの方が好きなんです。でも、あなたはこんな年上の女なんて興味ないわよね。」

「そっ、そんなことない。実は俺も君を一目見たその時からずっと好きだったんだ。俺たちに年の差なんて関係ない。」

彼女の目は涙で潤み一層きれいに見えた。僕は彼女をそっと抱いた。

「めぐみ…」

「沢木君…」

二人は見つめ合いその刹那、唇と唇が…

：

「あの、岩永君て彼女とかいるのかしら。あんな人私初めて。」

「えっ。」

頬を赤らめて（実際は暗くてよく見えないのだが、沢木にはそう見えた）そういうひとみを見て『そうだよな現実はそんなにうまくいくもんじゃないもんな。しかし何でよりによって岩永なんだ。どうみても俺のほうがいい男なのに。チクショウ』と思ったが、それを顔に出すような沢木ではない。

「岩永ですか、彼女は今いないみたいですよ。白石さん、もしかして岩永のこと。」返事は分かっているのに、何故か聞いてしまう。

「まだよくは分からんんだけど、何故か彼のことが気になるの。」

一層赤くなつて（これも見えてはいけないが）少女のように言うひとみだった。沢木は呆然としながらも、

「そうだったんですか、あいつって本当にいい奴なんですよ。僕、協力しますよ。」

「ありがとう。」

と、めぐみが言ったか言わないかのうちに、下のほうからがやがやと声がしてきた。そして女子部員たちが「何撮ろうか」などと話しながら上がって来た。最後に岩永が申し訳無さそうな顔をして上がって二人に近づいてきた。

「あの、私そろそろ帰ります。子供たちも眠くなつて来たでしょうし。今日は有り難うございました。」

と沢木に言い、岩永に一礼してめぐみはそくさと降りていった。そんなめぐみに「失礼します」と言い、

「沢木、子供たちもう寝ちゃっているから車に乗せるの手伝ってこいよ。」

と小声で岩永が言うやいなや安部が寄つて來た。

「運営委員の沢木君、M13を撮りたいんだけど望遠鏡に入れてくれませんか？」

「ああ、M13ですね。」

と岩永が望遠鏡に手を掛けようとしたのだが、沢木はそれを制して

「俺が入れるから、お前が下へ行ってくれ。」

「えっ。」と岩永は驚いて沢木のほうを見たが、『ここで無理に行かせては女子部員に感ずかれてしまう。』と思い「分かった。」と下へ降りていった。一階では、案の定めぐみは、眠つてしまつた子供たちを運ぶのに悪戦苦闘をしていた。そこで岩永は二人の子供を抱き上げて車まで運んであげた。その間めぐみは妙によそよそしく、口数も少なかつた。そして一言礼して、天文台を去つた。何も知らない岩永は、『ははーん、これはさっ紀二人きりのとき何かあったな。沢木も結構やるね。さてと、今度はチョコパフェ何個おごつてもらおうかな。』などと思いながら二階へと上つていった。

果して沢木の恋の行方は？

次回に続く。

今回の星屑は急遽私がピンチヒッターで編集いたしました。その理由は

祝 中尾さん 店裏昇格 多忙のため・・・・ありました・・・・

なにせ、めでたいのですが忙しい忙しいが口癖になってしまった中尾さんでした。そういう、私も「あー忙しい」が口癖ですから、ろくな編集ではありませんでしたが、一応義務は果たしました。特に200枚ものフロッピーディスクのコピーは大変でした。前回の時にはディスクドライブが、その後故障するというおまけ付きでしたが、今回は大丈夫のようです。その、フロッピーディスクの内容はどうだったでしょうか。天文台のホームページと同じ様な内容ですが、お楽しみいただけただしようか。毎年一回ぐらいはこんな企画もいいかなと思っています。

★ 7月の天文現象 ★

- | | |
|--------|-----------------|
| 2日(日) | 小惑星セレス(7.5等)の食 |
| 3日(月) | 満月 |
| 4日(火) | 月の距離が最近 |
| 8日(土) | 下弦 |
| 10日(月) | 時の記念日・水星が西方最大離角 |
| 11日(火) | 金星が内合 |
| 16日(日) | 新月 |
| 21日(金) | 夏至 |
| 24日(月) | 上弦 |

木星が観測シーズン入り・・・射手座の南斗6星近く

木星の近くには話題のヘール・ボップ彗星が見えています。すでに、現在肉眼でも見えるという報告もあります。今後が楽しみです。

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1996年7月号 通巻256号

発行所 熊本県民天文台事務局

〒861-42

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

Phone&Fax 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

編集担当 中尾・西島・今回臨時で中島

ホームページ http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML
E-mail tomy@interserve.or.jp か ニフティサーブ CXN00455 中尾まで